

1 社会・治安情勢

社会・治安情勢は国内の経済状況に左右される傾向が強いが、海外直接投資や非伝統的製品の輸出の伸びを受けて、ザンビアのマクロ経済は引き続き好調に推移している。一方で、貧困率・失業率（特に顕著）は依然として高く、特に首都ルサカ市、リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に貧困や失業に起因する犯罪が発生している。

また、都市への人口流入と当局の治安維持能力の低さがこれを助長している。これに加え、周辺国の紛争発生時に難民と共に流入した軍用の銃器が依然として多く出回っているとの情報もあり、それらが犯罪に使われる恐れもある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされている地域においても銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が発生しており、在留邦人においては、常に注意を呼びかけている。

また、その地域を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、犯罪の温床となっているといわれている。さらには、若年層の新規雇用低迷、生活インフラ整備の不足等に対し、多くの人々が不満を抱えており、これが何らかのきっかけで抗議や暴動につながる可能性も排除されない。

(2) 邦人被害事案

9月14日、ルサカ市内において、在留邦人宅に賊が侵入し、物音に気づいた周辺住民によって賊が取り押さえられる事件が発生。在留邦人に被害等はなし。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 住居侵入強盗

8月27日09:00頃、3人組の武装集団が建物に侵入し、インド人従業員を銃で脅し、現金・パソコン・携帯電話を奪って逃走する事件が発生した。この他、ルサカ市内では同様の事件が多数発生している。

イ 窃盗事件

8月27日午後、マンダヒルショッピングセンターにて窃盗を行った犯人が警察から車両で逃走し、在留邦人宅前で銃撃戦となる事件が発生した。その後犯人は、車を乗り捨てて逃走した。この他、ルサカ市内では同様の警察官と犯人との銃撃が発生している。

ウ 車両盗難

8月16日01時00分頃、ルサカ市内のアーケーズショッピングモールにおいて、車両が盗まれる事件が発生した。この他、ルサカ市内では同様の車両盗難及び車両強奪が多数発生している。

エ 強姦

8月12日19時40分頃、ルサカ市内チャワマコンパウンド地区において、13歳の少女が複数の男に強姦される事件が発生。この他、ルサカ市内では同様の強姦事件が報道されている。

- 3 テロ・爆弾事件発生状況
当該事件の発生は認知していない。
- 4 誘拐・脅迫事件発生状況
当館では把握していない。
- 5 日本企業の安全に関する諸問題
関連情報なし。